

新鹿の海は最適

マリンスポーツ推進委 SUPサーフィン講習

熊野マリンスポーツ推進委員会(池田宣政)は、海を利用した体験メニューづくり

熊野マリンスポーツ推進委員会は、海を利用した体験メニューづくり



【挨拶する池田会長】

熊野マリンスポーツ推進委員会は、海を利用した体験メニューづくり

熊野マリンスポーツ推進委員会は、海を利用した体験メニューづくり



【河合さん(手前)が乗り方を指導】



【新鹿の海を悠々と進む朝日さん】

河合さんは「新鹿は湾になっており、スタンドアップパドルサーフィンには最適」と話

講習会には会員7人と市観光スポーツ交流課の職員らが参加。池田会長は「海やビーチの魅力を深めるアイテムの一つになれば」と挨拶した。



【まるで海上を歩くような参加者】

し、乗り方などを指導。波に対してボードの後

るには絶対に行かないことなどを呼びかけていた。

この後、参加者は次々に海へと入った。ボードが大きいため安定しており、すぐに立って乗りこなす人も。浜から見ると、まるで人が海の上に立っているように不思議な光景が広がっていた。また、この日は河合さんの友人で日本ビーチ文化振興協会理事長、男子バレー元全日本の朝日健太郎さんも訪問し、スタンドアップパドルサーフィンと新鹿の海を満喫していた。市では同サーフィンのボードを5艇購入。観光協会などと協議し、新鹿海水浴場での貸し出しを検討しているという。